

熊川哲也 K-BALLET TOKYO

アンデルセンの名作「人魚姫」に
熊川哲也が新たな命を吹き込む――
今秋、壮大なるグランド・バレエ誕生！

[世界初演]

Mermaid マーメイド

in Cinema

25th
Anniversary

[芸術監督] 熊川哲也
[演出・振付・台本・音楽構成]

2024年 12月6日(金)～12月19日(木)全国上映

Mermaid

Story

海の近くの酒場。王子は身分を隠して友人たちや酒場の女たちと楽しんでいる。そこへ王子の父である王が現れ、誕生日を迎えた王子に短剣を渡す。「お前もいい年齢なのだから航海という冒険に出るがよい。そしてこの海にいる幻の大クジラを仕留めてこい」と命じる。喜ぶ王子は友人たちと航海に向かうべく決起する。

様々な生物が生き生きと暮らす広大な海。甲板に現れた王子一行は幻のクジラの登場に騒然とする。海面から王子の姿を見たマーメイドは一目で恋をしてしまう。イルカの群れを荒らすシャークに向かって王子が鎧を投げる。負傷し激怒したシャークは嵐を巻き起こし、王子たちの船は難破してしまう。海に落ちて溺れる王子を助け、岸へと運ぶマーメイド。

浜辺で横たわる王子をマーメイドは心配そうに見つめつつ、胸の高鳴りを抑えられない。王子は朦朧とした意識の中でマーメイドの顔を一瞬見るが、すぐにまた気を失ってしまう。物音がしてマーメイドが隠れると、通りかかった修道女たちが王子のもとに。その中の一人は、実は修道院に教育を受けにきているプリンセスだ。倒れている青年を助ける気がないプリンセスだが、彼の短剣の鞘に付された王家の紋章に気づく。この青年が王子だと悟ったプリンセスは、目が覚めた王子に、我こそがあなたを助けたとばかりに振る舞う。王子は彼女が命の恩人だと信じてしまう。

海中に戻ったマーメイドは王子を想っている。仲間であるクナミ、サンゴ、ロブスターたちに「恋をしているの」と打ち明ける。マーメイドは海の底に落ちていた王子の短剣を見つけ、王子と人間界への憧れはますます募っていく。父は激怒するが、マーメイドの理解者である叔母が、シャークの元に行けば、人間界に行ける方法を教えてもらえるともマーメイドに伝える。シャークに会いに行ったマーメイドは、声と引き換えに脚を授かる秘薬をもらう。しかしこの約束には「愛が実れば魂を得られるが、そうでなければ泡になってしまう」という条件があった。マーメイドは意を決して地上へと向かう。

©Yoshitomo Okuda

キャスト



飯島望未
(マーメイド)



山本雅也
(プリンス)



日高世菜
(プリンセス)



石橋奨也
(シャーク)



〔芸術監督〕 熊川哲也

〔演出・振付・台本・音楽構成〕

〔原作〕 ハンス・クリスチャン・アンデルセン

〔音楽〕 アレクサンドル・グラスノフ

〔指揮〕 井田勝大

〔管弦楽〕 シアター オーケストラ トウキョウ

〔編曲〕 横山和也

〔舞台美術デザイン〕 二村周作

〔衣裳デザイン〕 アンゲリーナ・アトラギッチ

〔照明デザイン〕 足立 恒

料金 2,800円(税込)〔前売券2,500円(税込)〕

入場特典 オリジナルクリアファイル(各劇場にて先着順)

※数に限りがございます。
予めご了承ください。

前売券はローソンチケットで2024年10月25日(金)より販売!

〔2,500円(税込)〕

(Lコード:35648)

